

東与賀

higashiyoka

文責 田中泰司

佐賀市立東与賀中学校

一学期、大変お世話になりました！

今日で長い一学期が終わります。伊万里から三年ぶりに戻ってから、慌ただしい最中でしたが、保護者の皆様や地域の皆さん、生徒たちの優しさに助けられ大きな事故などなく無事に終えられたことに感謝です。大変お世話になりました。とうございました。

成績二期制の本校では前期終了時に通知表が配られます。全国学力調査の結果や分析につきましては近々学校ホームページにて公開します。本校は学年にもよりますが、思考力や表現力の領域で伸びがみられます。また先日二年生の国語で優秀な作品を執筆した生徒たちに「校長賞」を授与しましたが、感性豊かにのびのびと表現した文章にたいへん感銘を受けました。これからも自分の長所を伸ばす取り組みを粘り強く続けてほしいと思います。

自分たちで企画し、盛り上げたクラスマッチ

先週から今週にかけて、生徒会が独自に企画・運営したクラスマッチが各学年で実施されました。場所も種目もバラバラで、天候不順による急な変更もありましたが、それぞれの学年ともに大いに盛り上がり、関係性を深め、思い出を作ったようでした。

昼休みを利用した二日間ずつの開催でしたが、企画し運営した生徒会や係の人たちは本当にお疲れさまでした。また楽しんで参加した生徒の皆さんも良かったです。

クラスマッチに先駆けて毎年恒例の文化部主催百人一首大会も大変盛況でした。最後はさすがの三年生の独壇場だったと聞いています。

出来ることを企画し、運営し、学校全体で楽しんで大いに盛り上がる。これからも、そういう前向きな明るい姿勢をもち、学校に関わる全員で楽しい思い出がたくさんできるような毎日にしていきます。

終業式で話しました

本日平和集会と終業式を執り行いましたが、その時の式辞の内容を記します。平和集会の様子はまた後日お知らせします。

私は始業式から「知る」ことを通して、自分とは違う他者を尊重することの大切さを伝えてきました。体育大会を始め多くの取り組みの中で、皆さんは仲間や先生方の新たな一面をみて多くを「知る」ことが出来たのではないでしょうか。また、自分のことを「知ってもらう」働きかけはできたでしょうか？人間どうしの関係は普段の何気ない言葉を交わすことでつくられます。これから多くさんの言葉をたくさんの人とかわしてください。まずは元気な挨拶からですね。

明日から45日間の長い夏休みが始まります。2026年の夏は人生で一度きりです。素晴らしい経験や出会いがあるように積極的に行動、挑戦してみてください。そして多くの本を読んで下さい。一冊の本との出会いが、自分の人生を大きく動かすことがあるからです。

就職活動をしている大学三年の時に、博多で合同セミナーがあり、高速バスで移動して、五つくらいの会社の説明を受けました。当時はバブル景気と言われ非常に景気が良く、会社への就職もわりにはな時代です。

どこかの会社に入り、その社員として一生すごすのかなとか、教員免許を取得している最中でしたので、先生になるのかな、とかいろいろ考えていました。しかしはっきりとした確証は得られず、ただなんとなく考えていただけでした。

セミナーからの帰り道、博多の商店街をブラブラ歩いていた。ある書店の前に来ました。何の気なしに中に入って本を眺めていたら、広大な地平線に浮かぶ赤い岩に向かって直線の道路が伸びているそして荷物を満載にしたバイクの後ろ姿が表紙の、ある一冊の本が目に見え込んできました。

校長室より

私の祖父は三度戦争に行き、終戦の一月前に亡くなりました。優しく穏やかな人だったそうです。最初は「お国のために」戦争に行くと言っていた祖父も三度目には「もう行きたくない」と言ったそうです。祖母のおなかの中にいた叔父は父親の顔を知りません。祖父も生まれてくる末息子をどんなにか見たかったことでしょう。

祖母は戦死をきいた時より、戦地から次々に兵士が帰還してきたときの方が妬ましく、辛かったそうです。女手一つで三人の子供を育て九六歳で亡くなりました。お坊さんから「あの世で会ったら気づいてくれるだろうか？」と生前祖母が不安がっていたと聞きました。夫の面影は三十歳のままのに年老いた自分を気づいてくれるだろうかと心配していたのです。葬儀で私は「むこうでおいちゃんにたくさん甘えてください」と最後に言いました。

おばあちゃん子だった私は幼いころから戦争を憎みました。暑い夏は大好きな季節ですが、祖国に帰りたいくても帰れなかった祖父と待ち焦がれた祖母を思う、ちよっぴり辛い季節です。

立つ決心をさせたのは間違いありません。そしてそれから後の自分の人生を大きく突き動かしたのです。

どうぞあなたたちの感性を存分に発揮して、素晴らしい人や本と出会い様々なことを吸収し「輝ける夏」にしてください。事故やケガにはくれぐれも気を付けて。そして成長した姿で再び会えるのを楽しみにしています。